



がんばれ高田 負けるな高田
できる できる できる!

【校訓】

自主・協力・創造

文責 校長 大串 久隆

「スポーツデー、拍手による温かい応援、ありがとうございました」

安全対策のため1家庭2名、応援席のテントなしの形での実施でしたが、沢山の保護者の皆様に参観いただき、生徒たちの頑張る姿、楽しく躍動する姿をご覧いただくことができたことを生徒・職員一同、心から感謝しています。

「Challenge the top!!」をスローガンに、生徒たちは、思いを一つにして、全力で取り組みました。今年は、予行練習の日と会場設営の日に雨が降り、十分な準備ができませんでした。しかし、生徒たちが、前日の土曜日の部活動の合間に天幕を取り付けたり、当日の朝に、てきぱきと椅子運びやテント設置を行ったりしてくれたお陰で、当日は、朝の30分間で会場準備が仕上がり、予定通りに大会が開催できました。



「一番かっこよく、一番おもしろく、一番楽しく」



今年度の最初の行事スポーツデーにおいて、生徒たちは、「スポーツの楽しさを体現する」ことで創造性を、発揮しました。スポーツの楽しさは、どうしたら伝わるかを考えたとき、「一番かっこよく、一番おもしろく、一番楽しく」を合言葉にして、「自分たちがはじけるぐらいに、全力で持てる力を出し切れれば、きっと、スポーツのすばらしさが表現できる。」と考えました。

みんなが楽しく、みんなで感動できるスポーツデーにする。

開会式から、みんなのテンションを上げるべく、生徒会長自らが、全力でエールを送りました。

スムーズなバトンタッチ、お互いに掛け合う言葉。積み上げた練習が生きました。



学級対抗リレーも各学年、目を見張るものがありました。かけ声とともにスムーズに走り出し、後者を見ることなくバトンを受け取る姿には、お互いを信頼し、コンマ1秒を削り出そうとする必死の姿がありました。どんなに差がついても、前をしっかりと見て追いかける姿に、大変感動しました。大きな声で声援を送りたいところを“グッ”と我慢し、全力の拍手で、その健闘を称えました。

3年生の努力の結晶「創作ダンス」

昨年末から、構想を練り、振り付けを考えてきた創作ダンス、その思いは、下級生にもしっかり伝わりました。1年生も、高田中学校の一員として、必死にダンスの振り付けを覚え、休み時間を返上して、学級総出で練習を行いました。はじけんばかりの動き、キレキレのステップと縦横の同調性。全校生徒が見事にシンクロした瞬間でした。3年生が下級生に求め続けた「恥ずかしがらず、思い切りやりきるダンス」が見事、実現していました。



中総体動激励会・・・強い決意とともに

スポーツデー午前の部の最後に令和4年度中総体激励会が行われました。各部のキャプテンが、これまで支えていただいた指導者や保護者への感謝の思いとともに、試合に向けた強い決意を表明しました。感謝の思いは、自分の持てる力以上の力を引き出す原動力となります。また、決意を示すことで、改めて自分の目標を見直し、自分のやるべき事を冷静に再確認する機会となります。あと、1週間、最後の仕上げを頑張ってください。



スポーツの可能性・・・「みんなで楽しむ」を探究する。

午後は、ペタンク、シッティングバレーボール、特別ルールドッジボールを全学年の学級対抗で行いました。つまり、同学年対決もありますが、異学年との試合もある球技会です。学年の体格の差などを埋めて、みんなが楽しく、平等性を持ってゲームをするにはどうすればよいのかを考えて、競技を選んだり、特別ルールをつくったりしました。実際に、プレーをしてみると、下級生が接戦に持ち込んだり、実際に勝利をつかんだりする場面もあり、経験を積み、学年に関係なく対等に勝負できるようになるのではないかと思います。

今年度最初の学校行事スポーツデーにおいて、生徒たちが目指した「創造」は、①感動を創造する。②スポーツの可能性を創造する。でした。スポーツデー実行委員長の藤本くんが話した「誰一人取り残さないスポーツデーにしましょう。」という言葉が、頭によみがえり、まさに、この午後のスポーツ球技会の趣旨だったのだと感じました。

来年度のスポーツデーは、どのような形になるかは分かりませんが、次回は、見ている観客の皆さんも楽しめる工夫を、ぜひ盛り込みたいと思っています。

ペタンク↓



シッティング
バレーボール
→



特別ルールドッジボール
男子はソフトバレーボール、女子はバレーボールを活用して、同時に2個のボールを併用して行うドッジボール

